

<競技上の注意>

【個人戦・団体戦共通】

1. 競技は全て（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスルールブックにより行う。マッチはすべて7回ゲームとする。
2. 使用球は男子「アカエム」、女子「ケンコー」とする。
3. コート割りならびに進行は、進行表の通りとする（進行の状況により変更する場合がある）。
4. ベンチは組み合わせ表の小さい番号の学校・ペアを北側（アップエリア側）とする。
5. 個人戦のベンチ入り指導者および団体戦の監督は、指定位置（ベンチ）に入ることとする。ベンチ入り指導者および監督は、学校長が認める指導者とし、それが外部指導者及び部活動指導員の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）に加入することを条件とする。
6. マッチ前の練習は1分以内とする。ただし進行の都合で省略することがある。
7. 審判に対する質問は、質問する権利を有する者が、1つのプレーに対して1回のみすることが出来る。
8. 審判について、個人戦は第1試合のみ団体戦は第2試合目までは本部より割り当てるが、以降は敗者審判とする。個人戦の準決勝以降・団体戦2日目の初戦および決勝戦の審判は本部で行う。団体戦の準決勝は敗者審判（準々決勝の敗者校から1名ずつ）で行う。
9. 服装は、日本連盟公認のものを使用すること。背中にはゼッケンを着用すること（四隅を止めること）。アンダーウェア（インナーウェア）は、日本連盟の定める「ユニフォーム等の着用基準」を厳守する。ただし、単色であること。
10. 選手の健康面を考慮し、チェンジサービス時（2ゲーム・4ゲーム終了時）の給水を認め、ファイナルゲーム中もチェンジサイズ時のみ給水を認める。選手は給水用の容器等を予め審判台の下に置き、審判台付近コート内で給水をとる（ベンチには戻れない）。
11. コートサイドの風通しの良い場所でのWBGTが31超過になった時はヒートルールを適応し、その場合本部より放送で指示をする。ヒートルールはファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間コート内（アンパイアの目の届く範囲）での休息を許可するもので、1分間の助言を受けることができるが、残りの2分については助言を受けることはできない。ヒートルールの適用と解除のタイミングについては本部の指示に従うこと。
12. ベンチ内での日傘の使用を認める。ただし、以下を遵守すること。
 - ・日光が反射しやすい色の日傘を使用せず、原則として使用者が自分で手に持って使用する。
 - ・その他、競技に支障をきたしていると本部が判断した場合は、その指示に従い使用を中止する。

【個人戦】

1. 受付は府県ごとに、各学校の顧問（引率者）が行う
2. トスについては、その日の第1試合の対戦についてはコートにて実施する。第2試合の対戦以降は、前の対戦が待機に入った時点でペア揃って各進行本部前に集合し、その場でトスを行う。トスを終えた後、スコアシートを受け取り、速やかに試合実施コート付近で待機すること。なお、マッチ前の呼び出しは原則として行わないため、選手が到着しない場合は、審判はすぐに計時を始めること。
3. 選手変更は、ペアのどちらか一人が病気その他不慮の事故等によって参加できない場合に限り認める。受付時に各府県の専門委員長に変更届を提出し、競技委員長の承認を得ること。
4. ベンチへの私有の椅子の持ち込みはできない。

【団体戦】

1. 3ペアの点取り対戦とし、2点以上を得たチームを勝ちとする（どちらかの学校が初対戦の場合は3ペアとも対戦を行う）
2. 受付は府県ごとに各学校の監督が行う。
3. 選手変更は、病気その他不慮の事故等によって参加できない場合に限り認める。（受付時に各府県の専門委員長に変更届を提出し、競技委員長の承認を得ること。）
4. 登録選手以外の選手が出場した場合、その学校は失格となる。
5. 1日目の2面展開では、コートが空き次第、次対戦の第1試合をそのコートにて行う。また、隣のコートが空き次第、2面展開で進行する。その関係で、敗者審判については1対戦空けての審判になるため、どの試合の審判に入るのかを必ず確認し、選手を待たせることのないようにすること。
5. 団体戦は進行表に沿って行うが、天候によっては変更することもある。
6. オーダーについてはWebアプリを使用して行う。別紙を確認しておくこと。
7. オーダーの提出期限については、以下のとおりである。
 - (1) 第1試合（両日）・・・・・・8時15分まで
 - (2) 団体戦1日目の第2試合以降・・・該当試合の直前の試合開始から、5分以内
 - (3) 団体戦2日目の第2試合以降・・・対戦相手が決定しだい、5分以内
8. ベンチ入りは、監督および団体登録メンバーのみとする。熱中症対策として、アップ時についてはコートからの出入りは自由とする。メンバー以外の応援はコート外の指定された場所で行う。
9. 選手のための私有の椅子の持ち込みは許可する（監督はコートのベンチに座ること）。

【その他の注意】

1. 応援については、自チームのコートサイドの後方からのみ、マナーを守って行うこと。
※ルールを守れない状況であると本部で判断した場合、会場から退場となる場合がある。
2. 部旗・横断幕等は指定された場所に取り付けること（13～20コート周りのフェンスのみ可）。
3. プライベートテントは、指定された場所に設置すること。杭・ペグを打つことは禁止とし、ウエイト等で固定すること。また、その日毎に設置し、撤去すること。（ブルーシートは撤去しなくてよい。）
4. 貴重品は、各自の責任で管理すること。
5. ゴミ等（ビン・缶類及びペットボトルを含む）は、各学校が責任を持って持ち帰ること。
（事前に申し込んでいる弁当の処理については、大会当日に回収時間と回収場所を連絡するため、その指示に従うこと）
6. 練習用のコートは13～20コートを譲り合って使用すること。指定された場所以外でのラケットの使用及び、走ったりなどのウォーミングアップや練習は禁止とする。
7. コート外での日傘の使用についても、反射しやすい色の日傘の使用は控える。試合に支障をきたしていると本部が判断した場合は、その指示に従い使用を中止する。
8. 動画・静止画の撮影は、コート外から撮影してもよい。ただし、撮影した映像等はあくまで個人用として撮影し、インターネット等への投稿（ネットワークを通じた配信等）はしないこと。
選手等の盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は決してしないこと。